

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年8月8日

**【四半期会計期間】** 第43期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 日本高純度化学株式会社

**【英訳名】** JAPAN PURE CHEMICAL CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 清水茂樹

**【本店の所在の場所】** 東京都練馬区北町三丁目10番18号

**【電話番号】** 03(3550)1048

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長兼経営企画室長 内田薫

**【最寄りの連絡場所】** 東京都練馬区北町三丁目10番18号

**【電話番号】** 03(3550)1048

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長兼経営企画室長 内田薫

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第1四半期 累計期間	第43期 第1四半期 累計期間	第42期
会計期間	自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 6月30日	自 平成25年 4月 1日 至 平成25年 6月30日	自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日
売上高 (千円)	2,641,533	2,502,252	9,971,836
経常利益 (千円)	288,391	252,625	1,207,191
四半期(当期)純利益 (千円)	230,484	180,961	807,119
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	1,281,575	1,281,917	1,281,575
発行済株式総数 (株)	63,158	63,162	63,158
純資産額 (千円)	6,835,513	6,991,574	7,313,128
総資産額 (千円)	7,483,586	7,949,420	8,274,438
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	3,827.94	3,071.37	13,419.70
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	3,827.88	3,069.22	13,419.48
1株当たり配当額 (円)			8,000
自己資本比率 (%)	90.9	87.6	87.9

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2. 持分法を適用した場合の投資利益につきましては、関連会社が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社が営んでいる事業内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期業績の概要は以下の通りであります。

電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末市場が昨年度に引き続いて牽引役となり、これら用途の半導体や電子部品の需要は旺盛でありましたが、デスクトップパソコンやノートパソコン向けについては需要が伸び悩み、また液晶テレビなどのデジタル家電向けについても依然需要が低迷し、総じて業界の需要は低迷しました。

当社におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末向けの高精細コネクタ用硬質金めっき薬品やマザーボード用無電解金めっき薬品については、高い技術競争力とマーケットの拡大により、販売は順調に推移しました。一方、高性能半導体パッケージ基板用無電解金めっき薬品については、パソコン市場の在庫調整の影響を受け、販売が低迷しました。

その結果、売上高は2,502,252千円（前年同四半期比5.3%減）、営業利益は229,644千円（前年同四半期比14.2%減）、経常利益は252,625千円（前年同四半期比12.4%減）、四半期純利益は180,961千円（前年同四半期比21.5%減）となりました。

なお、ストックオプション行使期間満了に伴い、新株予約権戻入益18,025千円を特別利益として計上しております。また、保有有価証券のうち時価が著しく下落したものについて投資有価証券評価損4,656千円を特別損失として計上しております。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用859,879千円、コネクタ・マイクロスイッチ用478,290千円、リードフレーム用822,512千円、その他341,570千円であります。

#### (2) 財政状況の分析

##### (資産)

流動資産は5,493,069千円となり、前事業年度末に比べて455,615千円の減少となりました。これは主に現金及び預金496,815千円の減少によるものであります。

固定資産は2,456,351千円となり、前事業年度末に比べて130,597千円の増加となりました。これは主に投資有価証券119,196千円の増加によるものであります。

この結果、総資産は7,949,420千円となり、前事業年度末に比べて325,018千円の減少となりました。

##### (負債)

流動負債は536,438千円となり、前事業年度末に比べて48,501千円の減少となりました。これは主に買掛金が123,594千円増加したものの、未払法人税等が162,529千円減少したことによるものであります。

固定負債は421,408千円となり、前事業年度末に比べて45,037千円の増加となりました。これは主に繰延税金負債39,013千円の増加によるものであります。

この結果、負債合計は957,846千円となり、前事業年度末に比べて3,464千円の減少となりました。

(純資産)

純資産合計は6,991,574千円となり、前事業年度末に比べて321,553千円の減少となりました。これは主に自己株式取得により326,631千円減少したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は80,688千円であります。

なお、当第1四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要は変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	246,400
計	246,400

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	63,162	63,162	東京証券取引所 (市場第一部)	当社は単元株制度は採用して おりません
計	63,162	63,162		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	4	63,162	341	1,281,917	341	1,025,629

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

## 【発行済株式】

(平成25年3月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,595		
完全議決権株式(その他)	普通株式 59,563	59,563	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式			
発行済株式総数	63,158		
総株主の議決権		59,563	

## 【自己株式等】

(平成25年3月31日現在)

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式数に対する 所有株式数の割合 (%)
(自己保有株式) 日本高純度化学株式会社	東京都練馬区北町三丁目10番18号	3,595		3,595	5.69
計		3,595		3,595	5.69

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

### 3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,389,119	2,892,304
受取手形及び売掛金	2,199,578	2,213,145
商品及び製品	73,856	109,781
原材料及び貯蔵品	193,768	230,588
その他	92,360	47,249
流動資産合計	5,948,684	5,493,069
固定資産		
有形固定資産	105,054	114,434
無形固定資産	62,279	58,683
投資その他の資産		
投資有価証券	2,121,860	2,241,056
その他	36,560	42,177
投資その他の資産合計	2,158,420	2,283,233
固定資産合計	2,325,754	2,456,351
資産合計	8,274,438	7,949,420
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	216,629	340,224
未払法人税等	225,864	63,335
賞与引当金	55,500	27,750
その他	86,945	105,128
流動負債合計	584,939	536,438
固定負債		
繰延税金負債	117,140	156,154
資産除去債務	38,150	38,244
役員退職慰労引当金	221,080	227,010
固定負債合計	376,370	421,408
負債合計	961,310	957,846

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,281,575	1,281,917
資本剰余金	1,025,287	1,025,629
利益剰余金	5,413,158	5,355,867
自己株式	851,942	1,178,573
株主資本合計	6,868,078	6,484,840
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	404,650	482,352
評価・換算差額等合計	404,650	482,352
新株予約権	40,399	24,381
純資産合計	7,313,128	6,991,574
負債純資産合計	8,274,438	7,949,420

(2)【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,641,533	2,502,252
売上原価	2,133,806	2,022,934
売上総利益	507,726	479,317
販売費及び一般管理費	239,947	249,673
営業利益	267,779	229,644
営業外収益		
受取利息	62	62
受取配当金	16,848	19,571
その他	3,947	4,000
営業外収益合計	20,858	23,634
営業外費用		
自己株式取得費用	-	653
支払手数料	245	-
営業外費用合計	245	653
経常利益	288,391	252,625
特別利益		
新株予約権戻入益	46,236	18,025
特別利益合計	46,236	18,025
特別損失		
投資有価証券評価損	-	4,656
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	4,656
税引前四半期純利益	334,627	265,994
法人税、住民税及び事業税	89,663	62,437
法人税等調整額	14,480	22,596
法人税等合計	104,143	85,033
四半期純利益	230,484	180,961

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期貸借対照表関係)

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。

なお、当第1四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期会計期間末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	12,912千円	8,041千円

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	5,865千円	10,536千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	240,844	4,000	平成24年3月31日	平成24年6月25日

- (2) 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	238,252	4,000	平成25年3月31日	平成25年6月24日

- (2) 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、貴金属めっき用薬品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎

項目	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額(円)	3,827.94	3,071.37
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	230,484	180,961
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	230,484	180,961
普通株式の期中平均株式数(株)	60,211	58,919
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額(円)	3,827.88	3,069.22
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株) (うち新株予約権)	0 (0)	41 (41)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含まれなかった潜在株式について前事業年度末から重要な変動がある場合の概要		平成23年6月17日株主総会決議ストックオプション(株式の数247株)及び平成24年6月22日株主総会決議ストックオプション(株式の数250株)は希薄化効果を有することとなりました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月8日

日本高純度化学株式会社  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 明 典

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 神 山 宗 武

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本高純度化学株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第43期事業年度の第1四半期会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、日本高純度化学株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。